

住吉古墳(佐渡市)

ここは「村社 住吉神社」



鳥居の前方に社殿がある/右手の向こうに住吉古墳2号がある







拝殿







右側面から/拝殿と本殿(右手)



拝殿側面



右手が社殿で左手に住吉古墳2号の説明板が立っているのが見える



正面に住吉古墳2号がある







市指定文化財 記念物 史跡
住吉古墳 2号
平成27年(西暦2015年)10月指定

住吉古墳2号は、住吉神社敷地内約100mの西側に立地
から発見された、石室を有する古墳です。
墳頂は縄文式土器の片断や、古墳と関連一帯の縄文期
土器群が検出されています。古墳として認められる古
墳と土器や鉄器にみる縄文期の土器群の特徴です。
なお、石室から住吉神社遺跡より、墓穴一箇、古墳1土
室の痕跡が見つかっており、現在住吉神社敷地内に
残っています。

調査者：住吉神社遺跡調査会



横穴式石室をもつ円墳

市指定文化財 記念物 史跡

すみよしこふんにごう

住吉古墳 2号

平成20年5月1日指定

住吉古墳2号は、住吉神社脇海拔約5mの海岸砂丘地から発見された、6世紀後半の古墳です。

古墳は横穴式石室の円墳で、^{せんだう}玄室と羨道一部の最下部に側壁が残されています。古墳としては砂丘地という立地と玄室中央部にある長方形の石囲が特徴的です。

なお、石囲からは須恵器蓋2点・直刀一振・金環3点等の副葬品が見つかっており、現在佐渡博物館に展示されています。

設置者：佐渡市教育委員会



発掘当時の石室内部
(昭和37年撮影)



玄室と羨道の一部の最下部側壁が残されているという



両津港沿岸の砂丘地にある古墳であり、佐渡の特徴となっている





ところで住吉古墳1号は社殿の東側(この方向)の漁業料記念碑の前方にあったらしいが、調査後、埋め戻されたという



境内のこんな石は古墳の名残であろうか



参考ホームページ

<http://www.city.sado.niigata.jp/sadobunka/k/c/city216.htm>

http://www.city.sado.niigata.jp/sadobunka/denbun/bunkazai/sado_city/kinen/siseki/city_no216.htm

<http://kofun.info/kofun/1643>



世界・日本・新潟県・佐渡市・Near 住吉126



250 フィート 150 m

© 2013 Microsoft Corporation © 2012 Zenrin